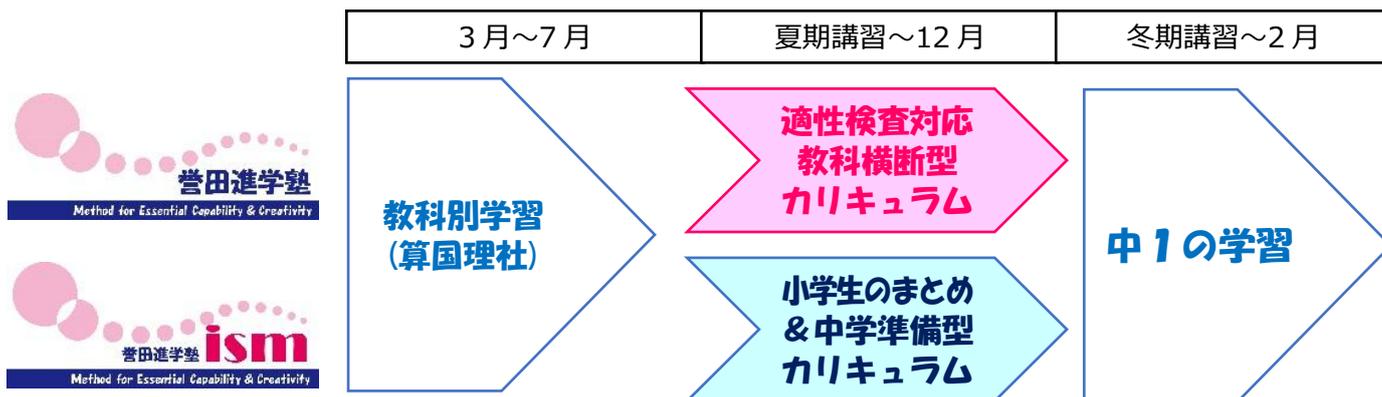


小学部のカリキュラムについて

小学6年生の夏期講習から、誉田進学塾（鎌取教室・土気教室）と誉田進学塾 **ism** の学習カリキュラムはコース別に分かります。分岐後は学習内容や進度が異なり、扱う教材や授業の重点が変わります。それ以前（小学4年生～6年生の夏期講習前まで）は、両コースとも進度が並行した共通のカリキュラムで基礎力を固めます。ただし、誉田進学塾（鎌取教室・土気教室）の小学4年生は授業時間を誉田進学塾 **ism** より30分長くとり、深くじっくりと考える時間をより多く設けています。

▼指導のイメージ（小学6年生）



誉田進学塾（鎌取教室・土気教室）

小学6年生の夏期講習からは、**教科横断型の総合学習**へと移行し、「国語・社会」「算数・理科」をまとめて扱う文系・理系の授業に変わります。資料を読み取り、自分で考えて答えを導く力を育てることが目的です。また、公立中高一貫校で求められる**適性検査型の教材**を積極的に取り入れ、**論理的思考力・文章読解力・資料分析力**など、将来の高校入試にもつなげる力を養成します。

なお、通常授業では作文演習や適性検査の過去問対策は行いません。公立中高一貫校の受検をご希望の方は、『県立中対策特別講座 TOP』または『市立稲毛国際中対策特別講座 iTOP』をご受講ください。

誉田進学塾 **ism**

小学6年生の夏期講習からは、中学での学習をスムーズにスタートするための**中学準備型カリキュラム**に入ります。小学6年生前期までの内容を体系的に整理し直して理解の抜けをなくすとともに、英語・数学を中心に中学内容の先取り学習にも取り組みます。計算力・読解力・思考力といった基礎力を確実に固めつつ、**中学進学後に大きく伸びるための土台を完成させる**ことを目指しています。

誉田進学塾と誉田進学塾 **ism** は、どちらも「基礎を確実に固め、考える力を伸ばす」という共通の指導方針で、小学生の学力を段階的に伸ばしていきます。どちらのコースでも、将来的に難関高校を目指せる土台を育てることができます。

一方で、**公立中高一貫校の受検をお考えの場合は、教科横断型の総合学習を行う誉田進学塾（鎌取教室・土気教室）をおすすめ**しています。

なお、入塾後に進路方針が変わった場合でも、**ism** から誉田進学塾への「移籍制度」をご利用いただけますので、安心してご入塾いただけます。（詳細は P.24 をご参照ください）